

# 漁況予報 い わ し

## 第211号

【2019年1～2月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、11月は630kgで前年（4.4トン）および平年<sup>\*1</sup>（3.6トン）を大きく下回りました。12月は0kg（速報値）で前年（475kg）および平年（2.4トン）を大きく下回りました。

まき網は、11月、12月ともに水揚げはありませんでした。

魚体は、被鱗体長<sup>\*2</sup>（以下同）11～13cmの0歳魚（2018年生まれ）主体でした。

【2018年概況】神奈川県における2018年のマイワシ漁獲量は、主要定置網1,820トン、まき網70トンの合計1,890トン（速報値）で、前年（1,160トン）および平年（1,193トン）を上回り、5年連続の1,000トン超えとなりました。これは夏季以降に0歳魚（2018年級群）の漁獲量が伸びたため、大羽イワシのまとまった来遊はありませんでした。マイワシ太平洋系群は加入量の良好な状況が続いており、今後本県沿岸への更なる来遊に期待したいところです。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総漁獲量は358kgで、前年（2トン）および平年（8トン）を大きく下回りました。つづく12月の漁獲量（速報値）は58kgで前年（583kg）および平年（21トン）を大きく下回りました。

【2018年概況】神奈川県における2018年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網328トン、まき網69トンの合計397トン（速報値）であり、前年（1,644トン）および平年（2,766トン）を大きく下回りました。盛漁期の5,6月期の漁獲量が伸びなかったことが響き、定置網では2000年以来の300トン台に留まりました。多くの月で来遊量が平年を下回る水準で推移し、8月以降は殆ど漁獲がなくなりました。国等の資源量調査によれば沖合海域における分布量は確実に減少していますので、引き続き沿岸発生群の動向を注視していく必要があります。

#### 【シラス】

前年に続き夏シラス漁が不漁だった相模湾のシラス漁ですが、11月は全体で見れば前年のような不漁に陥ることもなく、前年を大きく上回り平年並でした（前年比3.5倍、平年比0.9倍）。しかし、西高東低の漁模様となり、三浦半島側では不安定な漁場形成となりました。12月も西高東低の傾向は変わらないまま終漁となりました（前年比0.8倍、平年比0.7倍）。

【2018年概況】神奈川県における2018年のシラス総漁獲量（標本船データからの推定値）は、前年および平年並の323トンとなりました（前年比1.1倍、平年比0.8倍）。4月は全域で好漁となりましたが、夏シラスは全域で不漁、秋シラスは西高東低となり、三浦半島側の漁家にとっては厳しい一年となりました。

## = 予 報 =

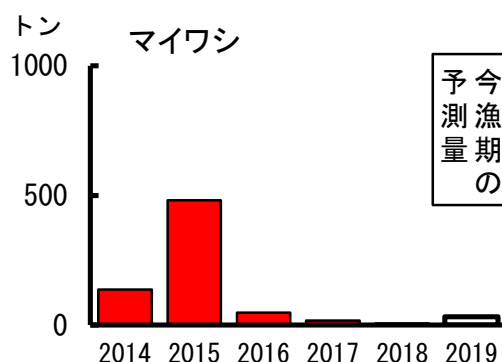
### 【マイワシ】

今漁期は、2018年生まれの中羽マイワシ（11～13cm）が漁獲の主体となるでしょう。

前年同期同様、親潮の南下勢力が弱いため来遊量は伸びないでしょう。

今漁期の漁獲量は、低水準ながら前年を上回る約31トンと予測されます。

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

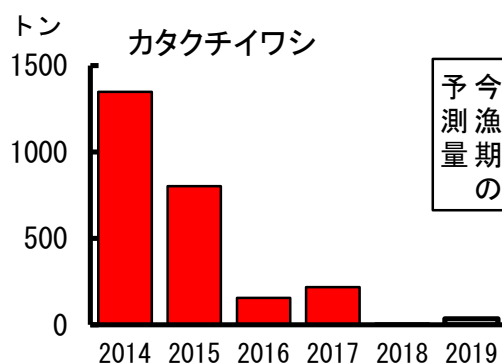


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

### 【カタクチイワシ】

今漁期は、未成魚（7～8cm）及び小型成魚（9～10cm）が漁獲の主体となり、沖合海域から来遊する大型成魚（12～14cm）が僅かに混じるでしょう。

前年同期同様、親潮の南下勢力が弱いため来遊量は伸びないでしょう。今漁期の漁獲量は、低水準ながら前年を上回る約34トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

### 【シラス】

神奈川県の上りシラスは、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では解禁後の漁況予測のため、神奈川県上り船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も1～3月に禁漁期調査を実施します。調査の状況については、次号で報告する予定です。

神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313